



Safe Crop Project News



No.33 2021年3月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライ・チェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

終了時評価と第5回JCC

2016年7月より5年間の協力期間で実施している本プロジェクトも残すところ5か月弱となりました。2021年1月にベトナム側関係者と日本側関係者による合同終了時評価が実施され、2月3日に開催された第5回JCCにおいて、終了時評価結果が合意されました。以下に報告させていただきます。

終了時評価

今回の終了時評価は新型コロナウイルスの影響で日本からの渡航が困難である等の制約がある中で実施されました。オンライン会議も活用しながら可能な限り包括的な情報・データ収集が行われ、今後のプロジェクト活動に対する提言や類似案件実施にあたっての教訓を始め、関係者にとって有益な結果が得られました。この中で、現在ベトナムで進む変化に関連する提言を2点、ご報告させていただきます。

サプライ・チェーンモデルの更新

プロジェクトでは、安全作物のバリューチェーン形成促進には複数バイヤーと安定して取引を行うための管理能力強化が必要であるという観点より、対象グループの共同販売に関わる管理能力を分析し、3つのサプライ・チェーンモデル：ナーシングステージ（共同生産・販売の経験が限定的）、拡大ステージ（複数のバイヤーとの取引が可能）、安定ステージ（バイヤーのニーズに基づき、安全で品質の高い野菜の通年供給が可能）を形成し、各ステージに対応した支援やターゲットとなるバイヤーを示しました。終了時評価において、このモデル提示は各省農業農村開発局（DARD）による生産者支援において役立つと考えられる点で評価されましたが、新型コロナウイルス禍でオンライン取引の流通形態が浸透しつつある等変化するサプライ・チェーンに対応するため、バイヤーと消費者の分析を含むサプライ・チェーンモデルを継続して議論していく必要性が提言されました。

安全作物生産のための ICT 活用

現在日本を含む各国で農業分野においてもデジタルトランスフォーメーション（DX）が促進されています。ベトナムにおいても、農業分野におけるDXの促進が積極的に行われており、デジタル記帳によるトレーサビリティ確保、環境センサーデータに基づくリモート灌水等の試験モデルが各地で導入され始めています。プロジェクトが開始した2016年時点では対象グループの中でスマートフォンを所有するメンバー農家はかなり限定的

でしたが、4年半が経過した現在では所有者も少し増えており、本プロジェクトでも2020年後半から、作業の効率化や生産情報の透明性確保による信頼性向上が期待されるデジタル記帳の実証試験を実施中です。終了時評価では、今後得られる結果を参考に、将来の安全作物栽培とサプライ・チェーン形成のためのICT技術活用について、CPMU(Central Project Management Unit)、PPMU (Provincial Project Management Unit)、日本人専門家間で検討を進めることが提言されました。

第5回JCC(Joint Coordination Committee)

終了時評価結果は、第5回JCC会議において報告されました。北部地域における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今回のJCCはオンライン開催となりましたが、ICTの活用、関連省庁間の連携や官民パートナーシップを通じた包括的な取組によるフードバリューチェーン強化の必要性等、次期取組も視野に入れた活発な議論がなされました。会議では、上位目標の達成を測る指標をプロジェクトとの因果関係が確認できる指標に改訂する必要性や前述の提言を含む終了時評価結果が合意されました。



オンラインによる第5回JCC

プロジェクトでは残り期間においてCPMU、PPMU、日本人専門家間で密接に連携し、終了時評価の提言に取り組んでいきます。

CPMUによる能力向上研修

2021年1月にCPMUが主導し、対象省において生産者と政府機関職員の能力向上研修が実施されました。CPMUのDinh Cong Chinh 副代表に報告いただきます。

ハイズオン省、フンエン省、ハナム省（パイロット省）、ピンフック省、フーター省（セミパイロット省）、バックニン省、ハイフォン市（経験共有省）において、農業農村開発局（DARD）、作物生産・植物保護支局、農林水産品質管理支局、普及センター等政



CPMU の Dinh Cong Chinh 副代表による発表

新型コロナウイルスによる影響

旧正月を控えた 2021 年 1 月 27 日より北部地域で新型コロナウイルス感染が拡大し、ハイズオン省、及び、他省においても感染者が出た地域は拡大防止策として封鎖が為されました。ハイズオン省の封鎖措置は 3 月 2 日まで実施されましたが、2 月中旬以降は、政府による農産物移動円滑化の取組、消費者や有志によるハイズオン省野菜の支援購入の動きもあり、状況は改善に向かっています。今号では、封鎖中の 2 月に対象グループとのインタビューで確認できた情報をご報告させていただきます。

ハイズオン省対象グループにおける影響

Duc Chinh 組合

ハイズオン省内外の交通規制の影響で、ハイフォン港から輸出予定の人参の出荷が一時停止されましたが、2 月 19 日からハイズオン省からハイフォン市への許可車両の通行が可能となり、輸出は再開されました。一方、組合が所在するコミューンでも感染者が確認され、多くのバイヤーが調達を停止しました。一部のバイヤーへの販売は継続されていますが、バイヤーも買い付けに伴う移動に通常よりも 3~4 時間多く掛かる等、必要な手続きに時間を要しています。

Green Farm 社

学校の休校措置等により供給が滞りました。余剰となった 3 トンのコールラビは、1 月 27 日に最初に感染が確認されて以降封鎖された Chi Linh 市に寄付しました。供給が通常に戻るには時間が掛かることが予測され、次期作付けを遅らせる予定です。

Thanh Ha 社

取引先のスーパーが所在するクアンニン省へのハイズオン省からの車両乗り入れが禁止されたことにより、1 月 31 日にクアンニン省のスーパー 2 社への供給が停止されました。他方、ハイフォン市所在のスーパー 2 社については、ハイズオン省との省境まで野菜を引き取りにくる対応を取ったことから、供給には支障を来しませんでした。冬作の収穫は終わりに近づいており、残された収穫物は少なく、残っているジャガイモなどは収穫を遅らせることで対応する予定です。

府関連機関の職員、農協や農業法人幹部を対象に、安全作物生産・販売に関わる能力向上研修を実施しました。参加した農協や農業法人にはプロジェクト対象グループの他に、各省で安全野菜を生産しているグループも含まれています。

研修プログラムでは、講義の他、Basic GAP/Viet GAP に沿った安全野菜生産と販売の組織化に関わる関係者間の知見共有が行われました。今回の研修の主要目的は、生産者、関連政府機関幹部の安全作物生産とマーケティングに関わる意識や態度に前向きな変化をもたらすことです。

プロジェクトの成功に向けては、終了後も生産者と購買者が安全に対して関心を持ち、適切な生産計画策定と Basic GAP に沿った記帳・農業使用・収穫後処理による安全作物サプライ・チェーンの改善、生産者と購買者が互いに会って協力関係を築く機会の確保、安全性向上のための技術の学びを行っていくことが求められており、継続には関係者の意識変化が重要です。

Tan Minh Duc 組合

テト前は大口取引先のスーパー 1 社に 1 日 2 トンのコールラビとキャベツを出荷していましたが、交通規制で一時供給を停止する必要があり、再開後も消費減退により同社からの注文は半減（1 日 1 トン）しました。卸売市場でもコールラビとキャベツは供給過多となっており、価格は一時 1 kg 750 ドンまで暴落しました。2 月下旬以降は消費者によるハイズオン省農家支援の動きを受け、2 月 23 日に組合が所在するコミューン出身のハノイ在住の個人が発起人となり、貿易・建設会社で Tan Minh Duc 組合の野菜販売を開始し、最初の 2 日間で 10 トン販売、更に販売先をハイフォン市にも広げ、1 日 8 トン販売しています。取引量が半減していた前述のスーパーも 2 月 25 日以降、1 日 2~3 トンの調達に増加しています。また、3 月に大手銀行 1 社が支援購入として野菜を 10 トン購入予定です。

フンエン省 Yen Phu 組合における影響

フンエン省の Yen Phu 組合は、2 月 8 日にコミューンで感染者が確認されたことより、2 月 9 日から 25 日まで所在するコミューンが封鎖され、全ての顧客への供給が停止されました。2 月 16 日以降、仲買人やローカル卸売業者への供給を再開しましたが、1 日 400~500 kg に留まりました。このため、収穫期を迎えていた葉菜類やトマトの収穫を断念しました。一方、フンエン省政府による省内各郡政府への Yen Phu コミューン農家からの野菜購買奨励により、2 月 24 日に省内の政府機関等が野菜購入を開始し、24~26 日の 3 日間で 40 トンの野菜が調達されました。調達を停止していた大口顧客のスーパー 2 社も調達再開を決定しています。

今回の北部地域における新型コロナウイルス感染拡大は本来なら消費が喚起される旧正月前に発生し、移動制限や消費減退により、特に感染拡大が確認された地域では大きな影響が出ました。他方、消費者とバイヤーも苦境に直面した生産者と連帯し、各地で支援購入の和も広がったことは注目に値します。

プロジェクトでは引き続き影響について情報収集し、冬作結果の取りまとめを行っていきます。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com